

武豊町長 舩山 芳輝 様

来るべき東海大震災に備え
武豊町民の安全のため中部電力に浜岡原発の停止を要請して下さい

2011年3月30日
武豊町平井在住
中村 陽子

3月11日の東北関東大震災は、地震・津波・東京電力福島第一原子力発電所の事故により国難とも言える大災害に発展しました。

被災された皆様には、どれほどのご心痛かとお見舞いの言葉すら見つかりません。

苦勞を厭わず動いてくださっている多くのボランティアの皆様に敬意を表します。

また、福島第一原発事故の収拾のために、被曝の恐怖をおしてご尽力されている現場の皆様に、敬意を表します。

私は一武豊町民ですが、武豊町を住みよい町だと愛着を持ってきました。ですが、3月11日の地震以来、この地区に住む不安を覚えています。

日本列島は地震の活動期に入り、東海大地震がいつ起こってもおかしくない状況にありますが、東海地震によって中部電力浜岡原子力発電所が事故を起こすのではないかと危惧しているからです。

中部電力浜岡原子力発電所は武豊町から100キロの地点に位置し、現在4号機と5号機が稼働中です。浜岡原発は以前より世界一危険な原発として名指しされ、多くの市民がその稼働に不安を訴えてきました。

浜岡原発は、東海地震の震源域の真上の軟弱な地盤の上に位置し、内部告発によって建設に欠陥コンクリート骨材が利用されたことが表沙汰になっており、その耐震性は信頼することが出来ないからです。また浜岡原発には十分な津波対策がなされていません。

もし東海地震が起きれば、浜岡原発は福島第一原発よりも大きな事故を起こす可能性があります。

以前より多くの市民が浜岡原発の停止を求める署名活動に参加し、多くの専門家がその危険性を指摘しているにも関わらず、中部電力は浜岡原発は安全だと主張するばかりで、停止させようとしません。それどころか、このような事態の最中である3月23日には、6号機の設置

を再確認するという暴挙に出ました。4号機で実施される予定の、プルトニウムをウラン燃料に混ぜて使うプルサーマル計画も撤回されてはいません。

3月11日の大地震は、想定外のことは起こりうることを示しました。

中部電力が原発の安全性に対してどのような立場を取ろうとも、浜岡原発が稼動する限り、地震と津波による浜岡原発の暴発という最悪の事態を想定せざるを得ません。

その時、武豊町は希望を持って生きている多くの子供達、そして住民が放射線による被曝で健康な体を、命を失うことになります。

武豊町が放射線管理の下でしか居住を認められない土地になってしまえば、土地の価値もなくなります。

地震が起こってからでは遅いと、3月11日の地震は警告しています。3月11日の地震を教訓として活かすには、人災である原発を止めるしかありません。

武豊町役場は町民の生きる権利を守ってくれると信じています。

どうかお願いします。

武豊町民の命を守るために、浜岡原発の停止を中部電力に要請して下さい。

以 上